



発行所 財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 関山 巧
定価 1部金44円
題字 井戸知事

あなたです
火のあるくらしの
見はり役

平成十七年秋の叙勲

県下から消防功勞により十四名が受章

平成十七年秋の叙勲が十一月三日（文化の日）に発令されました。

消防関係の受章者は、全国で四四二名、うち兵庫県では、消防団員・消防職員十四名が榮譽に輝きました。

受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を、火災をはじめとする各種の災害から防護するとともに、消防力の強化・充実に尽力し、社会公共の

福祉の増進及び業界の発展に寄与された消防関係の方々です。
伝達式は、十一月九日（水）十一時三〇分から東京・虎ノ門の日本消防会館内ニッショーホ

ールで執り行われ、各代表者に叙勲が伝達されました。

〈全国消防関係受章者数〉

- 瑞宝中綬章 一名
- 旭日小綬章 一名
- 瑞宝小綬章 十三名
- 旭日双光章 二名
- 瑞宝双光章 一一三名
- 瑞宝单光章 三二二名
- 計 四四二名

〈兵庫県下受章者（消防功勞）〉

◎瑞宝小綬章

元神戸市消防局 消防正監 片井 義夫



◎瑞宝双光章

元赤穂市消防団 団長 岩崎 壽則



元和田山町消防団

団長 上野 強



元御津町消防団

団長 神頭 眞



元丹南町消防団

団長 河南 守夫



元明石市消防団

団長 木村 正彦



元西宮市消防団

団長 中山 芳夫



◎瑞宝单光章

元龍野市消防団 副団長 木南 一成



元尼崎市消防団

分団長 坂本 富數



元神戸市須磨消防団

団長 夏見眞一郎



元加古川市消防団

副団長 西多 攻



元但東町消防団

団長 宮垣 敬一



元姫路市姫路西消防団

副団長 森口 道信



元洲本市消防団

団長 山本 義孝



平成十七年秋の褒章が十一月三日（文化の日）に発令されました。

平成十七年 秋の褒章

◎藍綬褒章

神戸市西消防団 団長 安尾 勝



消防団員として永年にわたり消防防災活動に献身的に尽くされた。

れ、消防の発展に大きくされた方々に授与される藍綬褒章は、全国で二九名、うち兵庫県では、一名が受章の榮譽に輝きました。
伝達式は、十一月十六日（水）十一時五〇分から東京・麹町のスクワール麹町で執り行われ、消防庁長官から褒章が伝達されました。



秋の叙勲伝達式

秋の叙勲伝達式

秋の叙勲伝達式

秋の叙勲伝達式



消防関係褒章伝達式

総務省 消防庁



元赤穂市消防団長
岩崎 壽則



私は、昭和三年赤穂市消防団に入団以降、平成十六年九月退団まで四十七年有余、勤めさせて頂きました。

願ひますと、当時の入団は分団幹部の推薦により決定され、父親のない私は、消防団を通じて地域との付き合いが始まったように思い出されます。

また、詰所は木造で夜警では土間に穴を掘って炭火で暖をとる、外国製のポンプ自動車は近

消防団に入団して

神戸市東灘消防団住吉第二分団
有安 豊治



まず初めに、私の住む東灘区と東灘消防団について紹介いたします。

東灘区は、神戸市の市街地の東端に位置し、江戸時代この地域は、京都・大阪に通じる西国街道沿いにあたっていました。

大部分は農漁村であったが、海岸地帯には多くの酒蔵が軒を連ね、江戸へも大量に積み出されたため、天下の名醸地として有

くの坂道まで押し、勢いをつけ始動し飛び乗ったものです。

現在は機能、装備すべてが充実し、素晴らしいと思う反面、団員個々の価値観の違いや、サラーマン化が進み、団員補充には四苦八苦し、問題点は何かとよく悩んだものです。

さて、在団中には各種の災害に出勤しましたが、いまだ脳裏に鮮明に映し出されるのが、大槻林野火災で消火活動中、仲間三名の殉職現場に居合わせたこと。また、当時を襲った集中豪雨により山崩れが発生。倒壊家屋から必死に女の子を救出しましたが、すでに息絶え、災害で尊い命が失われる現場を目の当たりにし、心痛めた悔しさは一生忘れられません。

平成八年四月、団長を拝命後、培った教訓を生かし、団長の安

全管理には随分と心配りをしました。また、市民のご支援、ご協力を賜り防火、防災の要として、市民生活の安全確保のため、不断の努力を続けてまいりました次第であります。

最後に、平成十三年には赤穂市消防団発足五〇周年を記念して「あこう消防のあゆみ」を発刊し、先輩諸兄の築かれた道標を確かなものとするとともに、「刻苦光明」苦しみがながらも、意義深い消防団活動をさせていただいたことに深く感謝いたします。

今後も伝統ある「赤穂市消防精神」の継承を応援します。

明治二三年に市町村制が施行され、現在の東灘区域内に武庫郡御影町、魚崎町、本山村、本庄村、それに住吉村が誕生しました。その後昭和二五年にこれらが神戸市と合併し、東灘区が誕生、この時一区一団をもって東灘消防署所轄のもと、東灘消防団として業務を開始しました。

なお、私の属する住吉第二分団は、昭和五二年の住吉北、住吉中、住吉南の三分団が、二分団に再編され、発足しました。

さて、私が住吉第二分団に入団したのは、約三年前のことです。特に知り合いがいたわけではありませんが、入団を決心した理由は、大きく分けて次の三つになります。

一つ目は、地域住民の方との付き合いという面で、そのきつ

かけづくりのためです。というのも、人との繋がりを深めておくことで、自分の人生が豊かになるのではと考えたからです。

二つ目は、ある研修を受けて、講師の方が地域に何か一つでも貢献できる事をやりなさいという、話をされたことに感銘を受けたからです。

三つ目は、これが最大の理由ですが、東京都内に五年ほど家族で転居したことがありました。そこで初めて消防団に入団したのですが、東京という大都会の中で、防災訓練をはじめとした消防団の様々な活動に参加することによって、地域住民の方との繋がりができたことです。実際、ある冬休みの日に、「火の用心」を一緒に回ってくれないかと頼まれて、小学生の子供二人と一緒に拍子木をたたいて回

りました。他にも、盆踊りやおみこし、節分祭などの行事に参加しました。

このような経験を踏まえ、阪神・淡路大震災を経験した神戸の消防団員となったからには、やはり地域力の強化という面で、安全・安心に貢献したい。そのために、防災リーダーとしての役割はもとより、普段から地域住民の方とのコミュニケーションを積極的に行い、地域住民の方のつながりの輪を広げていきたいです。

最後に、これからは消防団は、日本のよき伝統、制度として、益々発展し続けてほしいと思います。

消防団今昔 ④

地区通信

「トンネル内で火災」 開通前の新鐘ヶ坂トンネルで訓練

丹波市消防団

丹波市と篠山市を結ぶ、新鐘ヶ坂トンネル内柏原側入り口から四四〇mの地点で、乗用車を中央線をはみ出して対向車のトラックと衝突、車両が炎上し一人が負傷した。トンネル内の非常電話で一一九番通報を受けた篠山市消防本部から丹波市消防本部など関係機関へ情報伝達され、ただちに土木事務所・警察・消防署・消防団が出動。

十一月二七日の開通を前に国道一七六号新鐘ヶ坂トンネル(丹波市柏原町上小倉)と同バイパスで十一月五日に車両火災を想定した訓練を、緊迫した雰囲気の中で実施しました。内容は、道路管理者である丹波県民局柏原土木事務所と丹波、篠山両警察、両消防本部、両市消防団の約一三〇名が参加し、交通事故時の連携確認のための訓練を行いました。

新トンネルは、延長一、〇一二mで、幅員は車道幅が六・五m、歩道部分を含めると十一mで、防災設備に優れているのが特徴。トンネル内の事故に備えて煙を排出する換気設備を有し、トンネル内でもラジオ放送が開

けるほか、テレビカメラを設置し、柏原土木事務所内のモニターに映像が映し出されるようになっており、事故発生時の初動体制の充実が図られています。また、停電時の対応として自家発電設備も整備されています。

丹波市と篠山市を繋ぐ主要道路でもあり、今後の事故時における対応について丹波市消防団としては、隣接の篠山市消防団と連携を強化し、安全安心の地域づくり今回の訓練を生かしていきたいと考えます。



トンネル内火災訓練

- ・操法最適ホース：コンベクソモAJ
- ・小型動力ポンプ：ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車（標準型・全自動型）
- ・消防ポンプ自動車（モリタ）
- ・消防用資機材全般



西垣消防器具製作所

〒669-5213 兵庫県朝来郡和田山町玉置461
TEL: (0796) 72-3131
FAX: (0796) 72-3132
E-mail: fp-nsgk@woc.2net



吉谷式消防ポンプ自動車

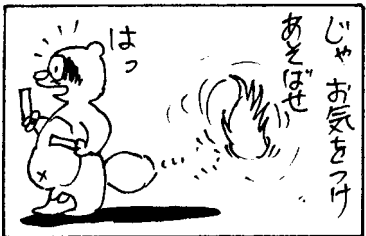
営業品目

- | | |
|---------------|---------------|
| 屈折梯子付消防ポンプ自動車 | 消防救助工作車 |
| 化学消防ポンプ自動車 | 小型ポンプ積載車 |
| 水槽付消防ポンプ自動車 | シバウラ小型動力消防ポンプ |
| 普通型消防ポンプ自動車 | 各種消防用品 |
| 高発泡機付消防自動車 | 消防用ホース |

株式会社 吉谷機械製作所

本社・工場 鳥取市古海356の1
TEL (0857) 23-2211(代)
FAX (0857) 27-1766

タヌキの 火の用心



「伝統を重んじる団長」
家島町消防団
坂本 隆博 団長

谷崎潤一郎の「乱菊物語」にもうたわれている家島町は、姫路市から南西へ八八kmを隔てた播磨灘の中央に位置し、四十余の島しよの総称である家島諸島全域をもつて組織しており、人口は約八、〇〇〇人の風光明媚な町です。

坂本団長は、昭和四五年九月に家島町消防団真浦分団に入団され、平成十五年から二年間副団長を務められた後に、平成十七年四月に団長に就任され現在に至っています。

団長に就任以来、「信頼と団結」をモットーとして、団員の技術向上に努められ、非常時に備えた訓練にも積極的に取り組まれる一方で、消防施設整備についても予算の獲得に情熱を持って当たられ、災害に強いまちづくりを推進されています。

家島町は来年三月二十七日に姫路市と合併する事が決定しており、本町での最後の団長になるにあたって坂本団長は、家島町消防団の節目、また、伝統を後世に残していくためにも沿革誌作製を強く要望され、本年度で制作する事になりました。各団員はもとより、退団された先輩方にも協力していただき、素晴らしい沿革誌となるよう編集を進めています。

わがまちの団長さん

130



より強い消防団
を目指して
五色町消防団
藤本喜代治 団長

五色町は、淡路島西海岸のほぼ中央部、播磨灘に面した自然豊かな町です。昔から保健や福祉事業に力を入れてきており、「健康の町・五色」としてその名を広く知られるようになりましたから、ご存じの方も多いのではないのでしょうか。

藤本団長は、昭和六二年に入団、平成十三年から分団長、副団長を歴任され、平成十七年に五色町消防団第十六代団長に就任されました。普段は温厚で物静かなイメージの団長ですが、

防火活動や水防活動、そして消防訓練の現場ではきびきびと行動し、毅然とした態度で団員に指示を出されます。また時には、強い口調でケキを飛ばす怖い一面も持つておられます。けれども、いざ出動となれば何はさておき、いち早く現場へ駆けつけ、的確な判断で陣頭指揮をとられるその姿に、団員誰もが厚い信頼を寄せています。

そして、団長が理想とされる消防団像は、どのような状況や場面の現場であってもそれに対

応し、消防団としての力を十二分に発揮できる、いわば「現場に強い消防団」で、現在、五色町消防団もこの理想により近づきよう日々努力をされています。



平成18年消防出初式日程表 (1月実施分)

地区	実施日	市町名	開始時刻	場 所	地区	実施日	市町名	開始時刻	場 所	
阪神地区	1月5日(木)	神戸市	10:00	メリケンパーク	西播磨地区	1月8日(日)	福崎町	9:30	田原小学校グラウンド	
		西宮市	9:30	武庫川河川敷公園			1月15日(日)	神河町大河内	9:30	神河町役場前広場
	1月7日(土)	伊丹市	10:00	昆陽池公園多目的広場		1月8日(日)	相生市	9:30	那波中央公園	
		尼崎市	10:00	尼崎市立中央中学校校庭			たつの市	9:30	千鳥ヶ浜グラウンド	
			芦屋市	9:00			芦屋市立精道小学校体育館	赤穂市	9:30	千種川河川敷公園
		1月8日(日)	宝塚市	10:00		宝塚市立末広小学校体育館	上郡町	9:00	上郡町役場対岸親水広場	
			川西市	8:30		1部 川西市立川西北小学校 2部 川西市文化会館	1月15日(日)	太子町	9:30	太子町民ランド
		猪名川町		9:30		猪名川町文化体育館	安富町	9:30	安富町役場南駐車場	
	東播磨地区	1月8日(日)	明石市	9:45		①明石市役所北側 ②明石市民会館大ホール	1月6日(金)	豊岡市竹野	9:30	竹野中学校体育館
				加古川市		9:00	1部 防災センター2階大会議室 2・3部 防災センター西側河川敷	1月7日(土)	豊岡市城崎	9:00
高砂市			9:30	高砂市営野球場・総合体育館	豊岡市出石	9:30	出石中学校体育館			
稲美町			10:00	播磨町立蓮池小学校	1月8日(日)	豊岡市豊岡	9:00	式典…市民体育館 分列行進等…市営駐車場		
播磨町			10:00	播磨町立蓮池小学校	1月9日(月)	豊岡市但東	9:30	但東町中央体育館及び総合支所		
中播磨地区	1月8日(日)	姫路市	9:30	シロトピア記念公園	丹波地区	1月8日(日)	篠山市	9:00	篠山城趾三の丸広場	
		家島町	9:30	家島小学校グラウンド		丹波市	8:00	春日町市民グラウンド		
		夢前町	9:00	前之庄小学校グラウンド		1月7日(土)	五色町	9:30	五色中学校グラウンド	
		市川町	9:00	川辺小学校グラウンド			1月8日(日)	洲本市	9:00	洲本市文化体育館文化ホール
				南あわじ市	9:30	南あわじ市三原健康広場				
				淡路市	10:00	津名中学校				

北から南から

遺跡の町、播磨

播磨町消防団

播磨町は、兵庫県南部、中央臨海部に位置しており、面積は九畝の県で最も小さく、その三割が海を埋め立てた人工島です。当初は、四ヶ寺、三〇戸程の農村で、阿閉村とよばれていました。昭和三十七年四月に町制を施行し「播磨町」と名付けられ、当時の人口は約一五、〇〇〇人でしたが、現在は、三五、〇〇〇人弱の比較的若い町です。当町は「新聞の父」といわれるジョセフ彦が有名です。アメリカ領事館の通訳として、日米修好条約の締結や幕府の遣米使節の派遣などに奔走し、リンカーン大統領と会見する栄誉に恵まれ、民主主義の理念を伝授されたとも伝えられています。町内の蓮花寺に両親の墓碑があり、裏に

英文が刻まれていることから、俗に「横文字の墓」と呼ばれています。また、国指定史跡「大中遺跡」があり、毎年「大中遺跡まつり」が開かれます。住民は貫頭衣を身にまとい古代人に扮し、銅鐸や太鼓の響きが祭りの開始を知らせ「火起こしの儀式」で始まります。今年十一月七日(土)に催され、J.R土山駅から会場まで、一kmの古代パレードをしました。会場内では、「土器づくり」「塩づくり」「まが玉づくり」等の体験コーナーがあり、子供から大人まで一緒になって楽しみました。昔懐かしいボン菓子など出店も多く、また赤米を使ったもちつき、昔の遊びなど賑やかでした。舞台では、町指定無形民俗文化財



大中遺跡



新聞の父 ジョセフ

左から(伊藤博文)(木戸孝允)、一番右が(ジョセフ・彦)



座学風景



放水訓練

地区通信

「姫路西消防団基本教育訓練」を実施!

姫路西消防団

の「古宮の獅子舞」、舞踊団「星輝心」のテンポのあるダンスが演じられました。銅鐸の音と共に村井敏郎さんのギターと唄の「火修めの儀式」で幕を引き、拍手喝采のうちに来年の再会を誓いました。また、平成十九年秋には、同遺跡南に「県立考古博物館(仮称)」が完成予定です。

歴史を物語る古代の町、自然の恵みと先人の努力により築かれた播磨町へ、皆様どうぞお越しください。

【お詫びと訂正】
「兵庫消防」平成十七年十一月十五日に発行第五七五号の「消防団今昔」において、元南淡町消防団長(南あわじ市まとい会長)の氏名が誤っておりまして、深くお詫びしますとともに、次のとおり訂正いたします。
正 元南淡町消防団長 仲山 勝己
(誤 仲山 勝己)

姫路西消防団は現在、団本部及び十六分団五四五人で組織され、消防ポンプ自動車十六台、小型動力ポンプ付積載車三台、小型動力カボンプ二台を配備し、J.R姫路駅南から姫路バイパス以北の姫路市街地をはじめ、世界遺産「姫路城」以西の八八七六kmを管轄し、五五、三四八世帯、一四一、三三二人の生命・身体・財産を守っています。

当消防団の火災、水防以外の主な活動としては、放火多発時における警戒パトロール、姫路市出初式への参加、避難所運営訓練等の自主防災組織の訓練指導、水防訓練、消防署との合同訓練の実施、総合防災訓練等各種訓練への参加、年末火災特別警戒等があります。また消防操法大会と応急手当指導員講習を隔年に行っており、日夜地域防災のリーダーとして活躍しています。

昨年は観測史上最多の台風が上陸した年でしたが、当消防団は日頃の訓練の成果を大いに発揮し、被害の軽減に努めるとともに、台風二三号で多大な被害を受けた豊岡市へのボランティア活動にも積極的に参加しました。今年度も四月に三二人、十

月には七人の団員が新たに加入し、平成十七年十月三〇日には、姫路西消防署において、「姫路西消防団基本教育訓練」を実施しました。この訓練は、新入団員・若手団員を対象に消防団員としての責務を正しく認識させ、消防活動に必要な知識、技能の習得と規律の保持、協同精神及び奉仕の精神の涵養を図り、地域住民の要求に対応できる団員を育成するために毎年行っているものです。

訓練は金澤消防団長のあいさつに始まり、消防団関係法令に基づき消防団の組織制度、消防団員の身分についての座学と訓練礼式、器具取扱訓練、放水訓練、ポンプ自動車取扱訓練等の実科訓練が行われました。

団員は熱心に訓練に参加し、今後の活躍が大いに期待されるものであり、訓練終了後には、全員に修了証を授与しました。

街にはクリスマスマスのイルミネーションが色鮮やかに点灯し、今年も余すところわずかとなりましたが、皆様が秋のお過ごしでしょうか。今月号では秋の叙勲・褒賞、平成十八年消防出初式日程表を掲載しております。また、消防団今昔には元赤穂市消防団長岩崎壽則さん、神戸市東灘消防団有安豊治さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

年末警戒などで普段にもまして忙しい日々を送られているかと思いますが、今年はずこく寒いですが、くれぐれも体調を崩さないように、気をつけて下さい。

編集後記

美と力を備えた新しいテクノロジーが社会と暮らしを守り続けます。

安心を科学するモリタです。

株式会社モリタ

本社 〒544-0003 大阪市生野区小路東5丁目5番20号
TEL06(6756)0119 FAX06(6756)3473
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山